

レビー小体型認知症

原因

■脳細胞内に蓄積したαシヌクレインという蛋白質が毒性を発揮して脳細胞を変性させることが原因で、αシヌクレインが凝集した**レビー小体**が大脳皮質や中枢神経系に広範に出現します。

症状

■変動する認知機能障害:

- ・アルツハイマー型認知症のような記憶障害よりは、意欲や注意力の低下、臨機応変に手続きや行動の予定を組むことや、道具を使うことの障害などが目立ちます。
- ・ボンヤリしているときとハッキリしているときの差が大きく、昏睡状態になることもあります。

■繰り返す幻視:

- ・「子供が遊んでいる」、「昆虫や小動物がいる」といったリアルな幻覚です。
- ・暗い部屋のハンガーにかかった背広を人影と誤認することもあります。

■パーキンソン症状:

- ・小声になったり、動作が遅くなったり、手が震えたり、転倒しやすくなることがあります。
- ・幻覚・妄想に抗精神病薬を処方するとパーキンソン症状(運動症状)が悪化します。

■REM睡眠行動障害(夜驚):

- ・REM睡眠中に悪夢を見て、激しい寝言を言ったり、暴力をふるったりします。

■その他の症状:精神症状(うつ、不安)、下肢静止不能症候群(むずむず足症候群)、疲労、疼痛・感覚障害(嗅覚障害、腰痛など)、自律神経障害(便秘、立ちくらみなど)

似たような症状をおこす病気

■その他の認知症との違い

- ・MIBG 心筋シンチグラフィーでMIBG取り込みが低下します。
- ・脳血流 SPECT で後頭葉の脳血流が低下します。
- ・ドパミントランスポータ SPECT で大脳基底核の取り込みが低下します。
- ・脳波で後頭葉の異常(徐波化)を認めることがあります。

治療法

■認知機能障害に**ドネペジル**が有効です(嘔気、イライラ、パーキンソン症状、脈拍低下に注意)。

■幻視はお部屋を片付けたり、照明を明るくすると消えることがあります。必要なら**抑肝散**(脱力に注意)や**非定型抗精神病薬**(クエチアピンなど。眠気、ふらつき、高血糖に注意)を処方します。

■パーキンソン症状に**レボドパ**(眠気、嘔気、幻視に注意)を処方し、**リハビリ**を実施します。

■REM睡眠行動異常があればベッド周りを片付けます。**クロナゼパム**を処方することもあります。

さいごにひとこと

■**介護保険**の申請をお勧めします。運動障害が悪化するようなら**指定難病**の申請をいたします。

みやさきクリニック 宮崎秀健